



大崎 芳章

一般質問

大崎

27年度と28年度の途中であるが、納税額とその使いみちを聞く。

また、返礼品の中で品切れになっている津野山牛や訓子府町の野菜の現状と宿泊施設の登録を聞く。

町民による他市町村へのふるさと納税での減税はあるか。あれば対策は。

池田町長

現在の返礼品は47品目。姉妹町訓子府町の野菜は台風の影響で品不足。津野山牛は商品の不足で提供できていない。宿泊施設は5つの業者が登録している。返礼品を増やしていくよう取り組んでいく。津野町は交付税の交付団体であり、税の減収額の75%が普通交付税で基準財政収入額に反映される。ふる

下元総務課長

さと納税が他市町村にされても影響はないと捉える。20年から27年までの納税額は1千665万4千円で、鮎の放流事業に300万円を充当。28年度は2月末で2千25万1千円で、鮎の放流事業に60万円・図書の購入に100万円を充当している。

問 過去の一般質問の経過は

答 それぞれに対応

大崎

新田地区の旧中央保育所の跡地利用、震災による町外者の仮設住宅地の確保、国道439号の大古味線の改良、駄場のみどりの広場の活用の現状を聞く。

池田町長

保育所の跡地についてはグループホームや民間の企業2社への貸し付けには至らなかった。新田地区の意見を聞きながら進める。町内の震災避難者仮設住宅地は総合センターグラウンドとB&Gグラウンドで確保できると想定している。須崎市民の仮設住宅の戸数や要望はまだ受けていない。県や高幡5市町と連携



みどりの広場

を取りながら対応する。北川・大古味間は1.5車線の暫定工法で局部改良を行っている。新田・寺川工区が終ったら2車線化と改良速度を上げるよう要望する。みどりの広場の公園の継続は断念。企業誘致を含め活用を模索している。白石地区の活性化委員会とも協議をしていく。

高橋建設課長

大古味線は梶原町が優先になっている。執行残が出た場合に工事ができるよう用地の洗い出しをしている。



旧中央保育所